

# オミクロン変異株流行下の疫学調査・介入

## 【前提条件】

- ・潜伏期間（感染～発症）：3日
- ・世代時間（発症～発症）：2日

- 想定：① 1人の陽性者が2人に同時に感染させる  
② 発症1日前に他の者に感染させる  
③ 発症後、**当日に検査し、当日に陽性判明**する

- 当初、1名が発症したため、迅速に検査し、陽性が判明。
- 積極的疫学調査①でその集団を検査。
- 検査で2次感染者が判明するが、3次感染は免れ、クラスターにならない。
- 感染予防対策を徹底していれば、2次感染者もなくせる可能性もある。
- 抗原キット等検査で陽性となった時点で迅速に疫学調査を実施し、対策を講じた場合は、感染拡大を防止できる可能性が大である。

## 事例2. (1名発症後迅速に検査し、接触者調査)

医療機関での対応の場合  
抗原キット陽性時点で対応の場合 等

### 積極的疫学調査・介入

